

いま「指悩皆喜」 真っ最中④



4年生になったとき、小学校に特別学級（特別支援学級）ができ、マーちゃんはクラスを移った。「自分は勉強が遅れているから」と受けとめたマーちゃん。でも元気いっぱいだった。

原作／竹本雅世 作画／青葉焰樹



米軍基地のない沖縄の実現を訴える（宜野湾市）

辺野古 新基地に 抗議！



2日間にわたりデモ（宜野湾市真志喜）



南・北コース2,600人が決起集会（沖縄海浜公園）

復帰43年をむかえる

戦後70年5・15平和行進

復帰43年5・15平和行進を5月14、18日、事務局2人が参加した。今年は敗戦70年という節目もあり、全国から2600人が結集した。

宜野湾市役所から南北2つのコースに分かれ出発したデモ行進には「沖縄の平和が東アジアの平和!!」と書かれた横断幕を手にした。韓国からの参加者や車イスでデモに結集する人もあり、関心の高さがうかがわれた。

北コースのデモ行進

が集まるなか、第38回5・15平和行進集約集會がおこなわれた。炎天下のなかの集會では、2日間の無事と「辺野古新基地建設阻止」「普天間基地即時閉鎖・返還」を訴え、明日の

では、沖縄の基地問題反対のシュプレヒコールをうったえながら宜野湾市役所、基地周辺、宜野湾市海浜公園をデモ行進し、13時過ぎに到着した。北コースの1200人が海浜公園へ入ると、舞台からは三線の音に合せて「沖縄を返せ」の唄が迎えてくれた。後から南コース1400人が到着し、北・南コースあわせて2600人が

県民集會に向け、団結ガンパローで締めくくった。翌日は「戦後70年止めよう辺野古新基地建設！沖縄県民大会」が那覇市の沖縄セルラースタジアム那覇でおこなわれた。集會では、辺野古漁港近くで新基地建設に反対し座り込みをつづけるヘリ基地反対協議会のテントが、何者かに荒らされ小魚が巻き散らされ、折り鶴などの展示物が引きちぎられる事件が報告された。会場は朝早くから家族連れや友人などが詰めかけ、グラウンドやスタンドは人で埋め尽くされており、総勢3万5千人もの人が辺野古への新基地反対を訴えた。翁長雄志・知事は「道理と正義は私たちにあり」として日米両政府に米軍普天間飛行場の閉鎖・撤去と新基地建設、県内移設断念を要求する大会決議を採択した。こんなに

また、封建的な身分階層秩序が残存しており、家長制的な家族関係、家柄や格式が尊重される村落の風習、各種団体の派閥における親分子分の結合など、社会のいたるところに身分の上下と支配服従の関係がみられる。さらに、また、精神、文化の分野でも昔ながらの迷信、非合理的な偏見、前時代的な意識などが根づよく生き残っており、特異の精

連載 (4)

「同和对策審議会答申」

なかでも、同和地区の産業経済はその最底辺を形成し、わが国経済の発展からとり残された非近代的部門を形成している。このような経済構造の特質は、そっくりそのまま社会構造に反映している。すなわち、わが国の社会は、一面では近代的な市民社会の性格をもっているが、他面では、前近代的な身分社会の性格をもっている。今日なお古い伝統的な共同体関係が生き残っており、人々は個人として完全に独立しておらず、伝統や慣習に束縛されて、自由な意思で行動することを妨げられている。

また、封建的な身分階層秩序が残存しており、家長制的な家族関係、家柄や格式が尊重される村落の風習、各種団体の派閥における親分子分の結合など、社会のいたるところに身分の上下と支配服従の関係がみられる。さらに、また、精神、文化の分野でも昔ながらの迷信、非合理的な偏見、前時代的な意識などが根づよく生き残っており、特異の精神風土と民族性格を形成している。このようなわが国の社会、経済、文化体制こそ、同和問題を存続させ、部落差別を支えている歴史的社会的根拠である。したがって、戦後のわが国の社会状況はめざましい変化を遂げ、政治制度の民主化が進んだのみでなく、経済の高度成長を基礎とする社会、経済、文化の近代化が進化したにもかかわらず、同和問題はいぜん残されているのである。しかるに、世間の一部の人々は、同和問題は過去の問題であって、今日の民主化、近代化が進んだわが国においてはもはや問題は存在しないと考えている。けれども、この問題の存在は、主観をこえた客観的事実に基づくものである。同和問題もまた、すべての社会事象がそうであるように、人間社会の歴史的發展の一部の段階において発生し、消滅する歴史的現象にほかならない。

(次号につづく)